

# 「阿蘇・天草やんちゃ教室」

## ～阿蘇大草原と碧き海天草での冒険～

- [主催]** 国立阿蘇青少年交流の家・熊本県立天草青年の家
- [後援]** 熊本県教育委員会・阿蘇市教育委員会・天草市教育委員会・上天草市教育委員会
- [協力]** 阿蘇市立坂梨小学校・阿蘇市立山田小学校・天草市立下田南小学校  
上天草市立今津小学校
- [期間]** 【第1回】「坂梨・下田南やんちゃ教室」  
平成23年7月4日(月)～7月9日(土) 5泊6日  
【第2回】「山田・今津やんちゃ教室」  
平成23年8月1日(月)～8月5日(金) 4泊5日
- [実施場所]** 国立阿蘇青少年交流の家・熊本県立天草青年の家 他
- [参加者]** 阿蘇市立坂梨小学校 5年生11名 阿蘇市立山田小学校 4・5年生22名  
天草市立下田南小学校 3～6年生10名 上天草市立今津小学校 4年生49名

### 【検討委員会委員】

千葉大学 教育学部 教授	明石 要一 氏
熊本県阿蘇教育事務所 指導主事	塩山 明 氏
阿蘇市教育委員会 教育部長	岩下 哲郎 氏
阿蘇市教育委員会 審議員	石本 明史 氏
天草市教育委員会 指導主事	吉田 正尚 氏
阿蘇市立坂梨小学校 校長	堤 康雄 氏
阿蘇市立山田小学校 校長	井口 法子 氏
天草市立下田南小学校 校長	小出 廣久 氏
上天草市立今津小学校 校長	泉 眞喜夫 氏
阿蘇市立坂梨小学校 5学年担任	宮崎 貴史 氏
阿蘇市立山田小学校 5年担任	佐藤 靖哉 氏
阿蘇市立山田小学校 4年担任	園田 富美 氏
上天草市立今津小学校 4年1組担任	林 健司 氏
上天草市立今津小学校 4年2組担任	濱 加奈子 氏
<b>[講師]</b> 国立阿蘇青少年交流の家 研修指導員	古澤 順正 氏
国立阿蘇青少年交流の家 研修指導員	市原 正 氏
国立阿蘇青少年交流の家 研修指導員	藤井 法行 氏
阿蘇火山博物館 館長	池辺伸一郎 氏
天草水産研究センター 研修指導員	長山 公紀 氏



出会いのつどい  
(坂梨・下田南やんちゃ教室)



出会いのつどい  
(山田・今津やんちゃ教室)

## 1 趣 旨

阿蘇のフィールドと天草の海辺を生かした自然体験活動や体験的な教科学習活動、生活体験活動等とおして、自主性と自分に自信を持って意志決定をする力を育てるとともに、仲間と助け合うことの大切さに気付かせ、思いやりの心を育てる。

また、阿蘇の山の子どもたちと天草の海の子どもたちが交流活動をするることにより、多様な考えや価値観に触れさせ、故郷のよさとお互いの良さに気付かせながら社会性を育てる。

## 2 目標

- (1) 自然体験や生活体験をとおして、自主的に活動しようとする態度を育てる。
- (2) 活動や生活の場面において、一人ひとりが自ら考え、考えたことを伝え合うようにしながら意志決定をする力を育てる。
- (3) 仲間と協力して取り組む活動を設定し、思いやりの心や互いに助け合おうとする態度を育てる。

## 3 事業展開

### (1) 研修プログラム

#### ① 「坂梨・下田南やんちゃ教室」

6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
1日目		下田南小学校移動（阿蘇青少年交流の家へ）				昼食	出会のつどい	よこそ阿蘇へ	部屋移動	野外炊飯			入浴・洗濯	振り返り	就寝準備	就寝	
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
2日目	起床・身じたくつどい	朝食	連絡準備	移動	橋尾岳登山			昼食	牛のえさやり体験	テント設営・シュラフの使い方	野外炊飯		入浴	スタンツ練習	振り返り	就寝準備	就寝
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
3日目	起床・身じたくつどい	朝食	テント撤去片付け	移動	インタビュー名人になろう（水基めぐり）		昼食	移動	火山調べ・阿蘇の地層調べ（阿蘇火山博物館）	移動	入浴・夕食・自由時間 明日の出発の準備		スタンツ練習	振り返り	就寝準備	就寝	
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
4日目	起床・身じたくつどい	朝食	退所式	天草青年の家に移動			昼食	ペーロン船体験	クラフト活動	よこそ天草へ	野外炊飯		入浴	スタンツ練習	振り返り	就寝準備	就寝
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
5日目	起床・身じたく	朝食	魚釣り体験活動			片付け移動	昼食	水産業の盛んな地域を訪ねて（天草水産研究センター）			野外炊飯 （釣った魚をさばいてバーベキュー）		入浴・キャンプファイヤー準備	キャンプファイヤー	就寝準備	就寝	
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
6日目	起床・身じたく	朝食	片付け・退所式	別れのつどい 坂梨小移動（阿蘇青少年交流の家へ）													

#### ② 「山田・今津やんちゃ教室」

6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
1日目		今津小学校移動（阿蘇青少年交流の家へ）				昼食	出会のつどい	部屋移動	大事なことを落とさずに聞こう（水基めぐり）			野外炊飯		スタンツ練習	入浴	振り返り	就寝
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
2日目	起床・身じたくつどい	朝食	連絡準備	移動	烏帽子岳登山			昼食	火山調べ・阿蘇の地層調べ	テント移動・シュラフの使い方	入浴・夕食・自由時間 明日の出発の準備		夏野星空観察			就寝	
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
3日目	テント清掃片付け	朝食	起床・身じたくつどい	退所式	天草青年の家に移動			昼食	ペーロン船体験	休憩・海浜活動	入浴・夕食・自由時間		スタンツ練習	振り返り	就寝準備	就寝	
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
4日目	起床・身じたく	朝食	移動	魚釣り体験活動			魚さばき・休憩	昼食	海に面した土地の暮らしを調べよう（天草水産研究センター）			野外炊飯 （釣った魚のバーベキューとピザ）		入浴・キャンプファイヤー準備	キャンプファイヤー	就寝準備	就寝
6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00		
5日目	起床・身じたく	朝食	片付け・退所式	別れのつどい 坂梨小移動（阿蘇青少年交流の家へ）													

### (2) 目標達成のための工夫

#### ① 検討委員会の実施

回	開催期日	主 な 内 容
1	6月9日	小学校自然体験活動モデルプログラム開発の視点や内容
2	12月19日	モデルプログラムの成果と課題、普及

#### ② 事業運営・サポート体制の確立

##### ア ボランティアスタッフの確保

今回の事業のように活動によっては危険が伴うものには班付きのボランティアが不可欠である。その反面、平日も含め長期にわたる事業の場合、他の事業のように大学生・高校生のスタッフを中心に集めるというのは不可能である。

そこで今回の事業では、年齢的には少し高めのボランティ



御協力いただいたボランティアの方々

ア（野焼きボランティア）の方々を中心に班付きボランティアを構成し事業に対応することができた。

#### イ 地域の指導者の指導・支援

授業として体験活動を仕組んでいくには、それぞれの活動にしっかりと知識を持たれた方々の指導・支援が必要となってくる。安全面を考えても、それぞれの活動でプロと言える方々にご支援をいただくことはとても大切なことである。今回の活動の中にも、星空観察の講師、登山の研修指導員、水産試験場の職員、地元の漁師さんの方々に多大なご協力をいただくことができた。



登山前の安全指導

#### ③ 学校との連携

1週間の体験活動の実施となると、学校行事だけで教育課程を実施することは難しい。そこで、教科に体験的な活動を取り入れて効果的な指導を行うことで、時数を確保できるようにした。

##### 【教科として実施した活動】

（坂梨・下田南やんちゃ教室）

- ★国語『インタビュー名人なろう』
- ★社会『水産業のさかんなまち』
- ★理科『生命のつながり』（牛のえさやり）
- ★理科（火山調べ）
- ★体育（登山活動）
- ★体育（ペーロン船体験）
- ★学活（出会いのつどい）
- ★学活（スタンプ練習）
- ★学活（キャンプファイヤー・別れのつどい）

##### 【教科として実施した活動】

（山田・今津やんちゃ教室）

- ★国語『大事なことを落とさずに聞こう』
- ★社会『海に面した土地の暮らしを調べよう』
- ★理科『夏野星空の観察』
- ★理科（火山調べ）
- ★体育（登山活動）
- ★体育（ペーロン船体験）
- ★学活（出会いのつどい）
- ★学活（スタンプ練習）
- ★学活（キャンプファイヤー・別れのつどい）

#### ④ 県立施設との連携

今年のやんちゃ教室の目玉の一つは、県立施設の「天草青年の家」と連携をしたということである。お互いの施設を生かした自然体験活動を行うことで、活動内容の幅も広がった。また、専門職員、指導員がそれぞれの施設で児童の指導を行うことで我々職員の指導法はもとよりプログラムの立案やその内容について情報交換を行うこともできた。この事業を、更に多くの施設と連携していくことで、より多くの子どもたちへの普及につながると思われる。

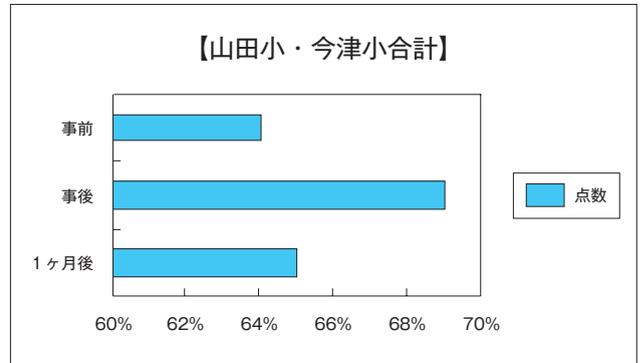
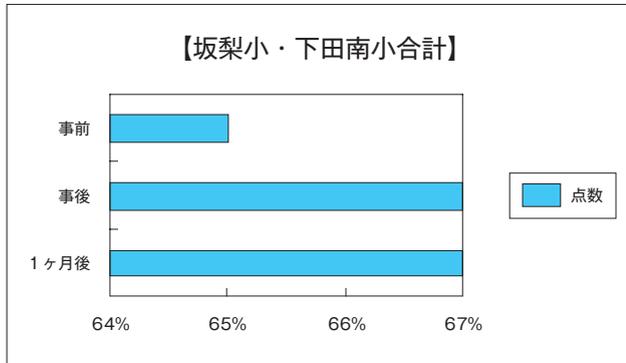


天草青年の家職員によるペーロン船指導

## 4 結果

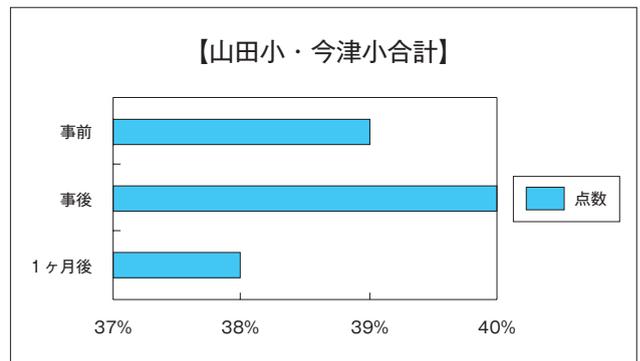
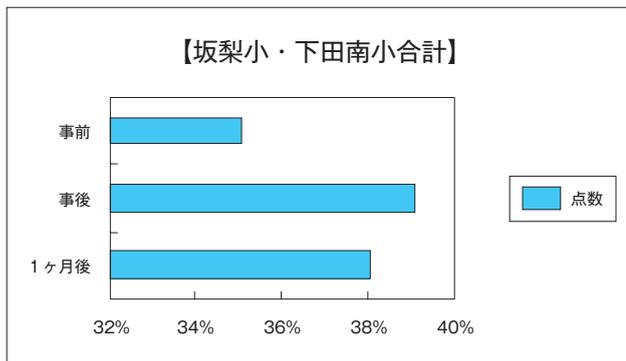
児童の変容については、IKR（生きる力）アンケートと千葉大学教育学部明石研究室作成のアンケートをもとに調べた。

- (1) 自然体験や生活体験を通して、自主的に活動しようとする態度を育てる活動  
(IKR 調査の「心理的社会能力」という項目の数字をグラフ化)

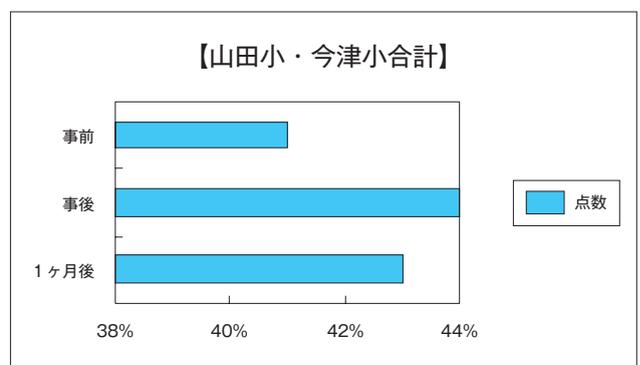
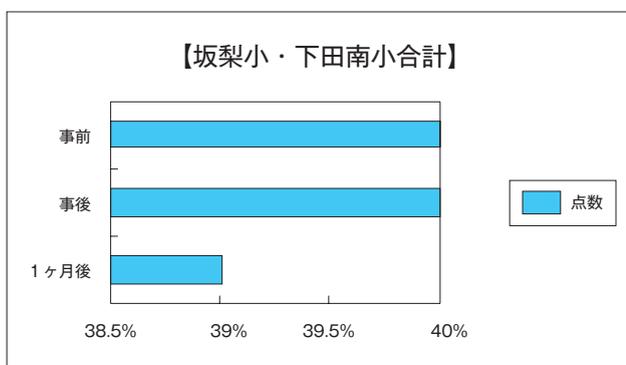


- (2) 活動や生活の場面において、一人ひとりが自ら考え、考えたことを伝え合うようにしながら意志決定をする力を育てる活動

(学級調査の2項目「自分の悪いような点は、注意してくれる。」「リーダーを支えようという雰囲気がある」から数字を抜き出しグラフ化)



- (3) 仲間と協力して取り組む活動を設定し、思いやりの心や互いに助け合おうとする態度を育てる活動  
(IKR 調査の「徳育的能力」という項目の数字をグラフ化)



## 5 成果と課題

### (1) 成果

- ① アンケートの結果より、今事業の目標に掲げた3項目についてアンケートの結果より、「阿蘇・天草やんちゃ教室」の目標については、ほとんどの学校及びクラスで事業後か、1ヶ月後に「自主性の高まり」「意志決定力の高まり」そして、「道徳性の高まり」が見られた。本事業のそれぞれのプログラムに対して、児童が本事業の目標を意識して取り組んだと同時に、プログラム自体に児童の協調性を求めたものが多かったということが言える。
- ② 長期の自然体験活動を行うにあたって、ボランティア確保の目処がついた。今までは主に大学生を中心に班付きボランティアという形で集めていたが、1週間という長い期間を通して参加できる学生はほとんどいない。

そのような中で、野焼きボランティアで活躍されている少し年齢が高めの方々、平日に休みの振り替えがとれる看護大学の学生、ボランティア自体を授業出席と見なしただけの大学の学生確保ができたことは大きな収穫であった。

- ③ 熊本県立天草青年の家と連携して、この事業ができたことは大きな成果であった。お互いの施設を生かした自然体験活動を行うことで、活動内容の幅も広がるとともに、専門職員、指導員がそれぞれの施設で児童の指導を行うことで我々職員の指導法はもとよりプログラムの立案やその内容について情報交換を行うことができた。

県立施設へ「小学生長期自然体験活動事業」を普及するという意味においても、大きな一歩を踏み出せたのではないかと考えている。

### (2) 課題

- ① 児童指導の面で、今年は参加児童に怪我があったので、少しでもそのような可能性が低くなるよう「安全面をより考慮した指導」が必要である。だからと言って、怪我をしないようにばかり考えていると、大胆でワクワクするような活動ができなくなってしまうので、指導と活動のメリハリがつくような方法を考える必要がある。
- ② プログラム開発の面で、阿蘇・天草以外にも熊本の素晴らしさを伝えられるような「地域の特色を更に生かしたプログラム」を考えていかなければならない。学校と更に綿密な連携を取りながら、教科として実施できる効果的な体験活動プログラムの開発、そして多くの学校が実施できるプログラムの開発に努める必要がある。

